

平成31年1月30日
四国地方整備局

平成30年度 重点「道の駅」の選定について ～地方創生の核となる「道の駅」の優れた取組を応援します～

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国土交通省では、関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた企画を選定し、重点的に応援する重点「道の駅」の取組を実施しています。

今般、四国地方整備局管内における重点「道の駅」及び重点「道の駅」候補として、以下のとおり選定しましたので、お知らせします。

選定結果

①重点「道の駅」: 1箇所

今後の施設整備に向け、駐車場や休憩施設等は社会資本整備総合交付金等で重点支援するとともに、自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、ハード・ソフト両面から支援

②重点「道の駅」候補: 2箇所

自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、主にソフト面から支援

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.3美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト】に該当します。

<問い合わせ先>

国土交通省 四国地方整備局 道路部 道路管理課 TEL:087-811-8325(直通)
道路管理課長 大西 良明 (内線 4411)
◎建設専門官 草薙 万男 (内線 4413) ◎: 主な問い合わせ先

重点「道の駅」

都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
徳島県	みよし 三好市	おおほけ 大歩危	<ul style="list-style-type: none"> ○ミシュラングリーンガイド・ジャパンでも紹介されている「祖谷溪」や名勝指定された「大歩危・小歩危」等数々の観光資源の玄関口である道の駅「大歩危」にて、インバウンドに対応した、ゲートウェイ(観光拠点)としての案内機能強化や周遊観光機能整備を図る ○ODMO団体、四国風景街道などと連携し地域資源を活かした観光を推進し、周遊・滞在型観光を推進する

重点「道の駅」候補

都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
徳島県	いたの 板野町	いたの (仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ○板野町は四国88箇所のお寺が3箇所、また近くに1番札所の霊山寺があり、四国全体のお遍路のスタート位置である ○E11高松道・E32徳島道の双方に近い立地を活用し、四国内外から訪れる高速道路利用者の休息機能と四国お遍路のゲートウェイ機能を両立 ○お遍路に関する情報ステーションやシャワー等のおもてなし広場を設け、お遍路の情報と休息サービスを提供する ○四国内に訪れる訪日外国人は大幅に増加しており、外国人お遍路等を対象とした観光案内所を設ける ○地域産業振興、地域福祉、防災施設としての整備と合わせ、内外からの地域活性化の玄関口としての役割を果たす
香川県	あやがわ 綾川町	たきのみや 滝宮	<ul style="list-style-type: none"> ○中讃地域の観光のゲートウェイとして観光資源の情報発信機能強化を図る ○インバウンド観光客への体験型観光・周遊型観光の拡大による地域活性化に取り組む ○地元教育機関と連携した商品開発等による地域産業の活性化を推進する

四国地方整備局管内で選定された重点「道の駅」および重点「道の駅」候補 位置図

重点「道の駅」

重点「道の駅」候補



道の駅「大歩危」(徳島県三好市) 企画概要 <既設>

H30重点

○ミシュラングリーンガイド・ジャパンでも紹介されている「祖谷溪」や名勝指定された「大歩危・小歩危」等数々の観光資源の玄関口である道の駅「大歩危」にて、インバウンドに対応した、ゲートウェイ(観光拠点)としての案内機能強化や周遊観光機能整備を図る。
 ○DMO団体、四国風景街道などと連携し地域資源を活かした観光を推進し、周遊・滞在型観光を推進する。

高松空港

祖谷溪

大歩危・小歩危 国の天然記念物 (地質鉱物)

道の駅大歩危

高知空港

祖谷

三好市

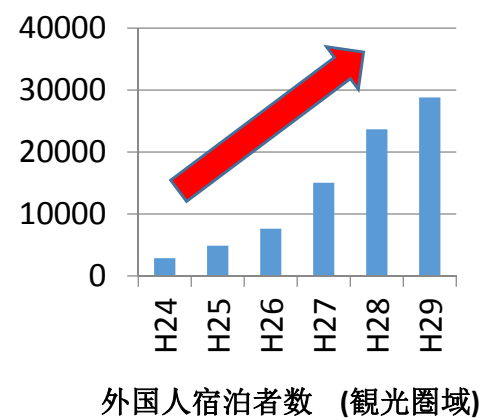
数々の観光資源の玄関口 観光情報、案内の一体的な提供

観光客の一時避難所 機能強化

2017年ラフティング世界大会の開催

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
大歩危	徳島県	三好市	国道32号	既設	平成20年度	単独型

急増する外国人旅行者への案内機能強化、周遊・滞在型観光機能整備



<提案の先駆性・ポイント>

- 道の駅「大歩危」を窓口とし、にし阿波～剣山観光圏(三好市、美馬市、東みよし町、つるぎ町)を地域DMO「そのの郷」及び、四国風景街道「三好市秘境ロマン街道推進協議会」と連携し、観光施設の情報を一体的に発信、地域全体のゲートウェイとして、周遊・滞在型観光を推進する。
- 「過疎地域自立活性化優良事例」に認められた「山城・大歩危妖怪村」と連携し、「妖怪」を活かした観光地づくりを行い、滞在時間の増加、周遊観光を図る。

<実施内容>

- 外国人観光案内所機能強化(L1からカテゴリⅡへの格上げ)
- JR大歩危駅との連携 外国人観光客の安全な誘導
- 地域伝承である「妖怪」を活用した観光案内板や多言語案内板の整備
- 外国人旅行者へ「周遊バス」の実証実験により、二次交通の整備促進
- 防災備蓄(食糧、毛布)等の防災機能の強化

道の駅「いたの(仮称)」(徳島県板野町) 企画概要 <新設>

H30重点候補

- 板野町は四国88箇所のお寺が3箇所、また近くに1番札所の霊山寺があり、**四国全体のお遍路のスタート位置**である。
- E11高松道・E32徳島道の双方に近い立地を活用し、四国内外から訪れる**高速道路利用者の休息機能**と**四国お遍路のゲートウェイ機能**を両立。
- お遍路に関する情報ステーションやシャワー等のおもてなし広場を設け、**お遍路の情報と休息サービス**を提供する。
- 四国内に訪れる訪日外国人は大幅に増加しており、**外国人お遍路等を対象とした観光案内所**を設ける。
- 地域産業振興、地域福祉、防災施設としての整備と合わせ、**内外からの地域活性化の玄関口**としての役割を果たす。

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
いたの(仮称)	徳島県	板野町	(主)徳島引田線	新設	平成33年	一体型

道の駅「いたの(仮称)」

- 観光総合における提案**
 - ・四国の玄関・観光ゲートウェイ
 - ・88箇所札所、歴史等紹介
 - ・各施設の周遊観光推進
- 高速道路の休息機能**
 - 高速バス停留所の設置
 - 次世代エネルギー等先端技術
- 産業振興における提案**
 - ・六次産業化推進、地域特産品の商品化
 - ・地産地消レストラン
- 地域福祉における提案**
 - ・子育て支援グループなど、子育て親子への支援
 - ・障がい者等への社会参加支援
 - ・ウォーキングコースやサイクリングコースの整備
- 防災における提案**
 - ・災害レポート、支援基地の整備
 - ・災害時の備蓄倉庫、避難所整備



お遍路情報ステーション

外国人観光案内所

- ・「発心の道場23ヶ所」全般の観光案内
- ・県東部圏域の観光情報の提供
- ・県内の各「道の駅」とネットワーク化

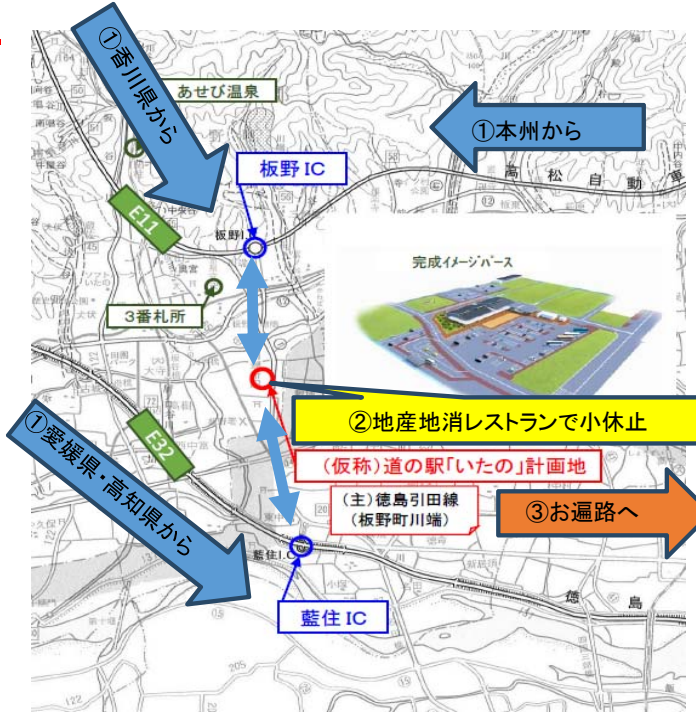
おもてなし広場

シャワールーム

衣類乾燥室

「道の駅」では中四国初！
常時英語対応可能なJNTO認定「カテゴリーⅡ」も視野に

<活用例>



<提案の先駆性・ポイント>

- お遍路巡礼のゲートウェイとして四国内・地域周遊観光名所案内による観光促進
- 徳島・高松自動車道の利用者の休憩機能の確保
- 子育て支援や高齢者等買い物弱者等への地域福祉の充実
- 災害時の支援物資、支援部隊等の防災拠点整備
- EV車等への充電等次世代エネルギー等先端技術の提供

<実施内容>

1. お遍路情報ステーション・おもてなし広場の設置
2. インバウンド対応した観光案内所、多言語パンフレット設置や多言語案内看板の設置。高速バス停留所の設置、大型バスに対応出来るトイレ整備
3. 子育て支援、高齢者宅への宅配サービス及び移動販売の活動拠点を整備
4. 災害支援物資や部隊受入基地、災害レポート及び非常食備蓄倉庫を設置
5. 水素ステーションやEV急速充電器を設置

たきのみや あやがわ
道の駅「滝宮」(香川県綾川町) 企画概要 <既設>

H30重点候補

- 中讃地域の観光のゲートウェイとして観光資源の情報発信機能強化を図る。
- インバウンド観光客への体験型観光・周遊型観光の拡大による地域活性化に取り組む。
- 地元教育機関と連携した商品開発等による地域産業の活性化を推進する。

■ 来訪する外国人観光客への対応

道の駅は高松空港、府中湖スマートICのアクセスが良好。
観光拠点となり外国人観光客をこんぴらさん、ニューレオマワールド、国営讃岐まんのう公園等へ誘導。

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
滝宮	香川県	綾川町	国道32号	既設	平成9年度	一体型



■ インバウンド観光客への体験型観光・周遊観光の拡大

外国人観光客に対し、道の駅併設の苺農園でのいちご狩りや、主基斎田お田植まつり等、体験型観光や綾川町の農作物に興味を持ってもらう機会づくりを促進していく。



<提案の先駆性・ポイント>

- 高松空港を利用して来訪するインバウンド観光客に向けた地域文化、特産品の発信
- 産・学・官連携による特産品を用いた商品開発
- 家族連れ利用者への子育て支援(子育て支援設備の整備等)
- IC近郊の休憩機能
- 産直施設の拡充と効率的な運営により、農業者の意欲向上
- 地域資源を用いた観光振興(まち歩きコースの設定による周遊型観光の推進)

<実施内容>

- 総合案内窓口、自動翻訳機、案内表示の多言語化、多言語コールセンター等を用いたインバウンド案内対応と体験型観光の提案
- 民間事業者と連携し、特産品のブランド苺「さぬきひめ」を使用したスイーツを、また、農業経営高校と連携し、生産した農産物を利用した商品開発を行う。
- JA香川による産直施設運営、レストランでの食材使用により農業者の意欲向上を図る

公募概要

- 地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を公募
- 優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものを選定

公募期間と選定の流れ

- 平成30年10月5日(金)～10月25日(木)

企画提案書の提出

各地方整備局等から推薦

企画提案の評価・選定
(有識者意見を踏まえ実施)

重点「道の駅」の選定

- 重点「道の駅」は全国で15箇所、
重点「道の駅」候補は全国で14箇所を選定

その他

- 計画的な企画検討を促進する観点から、今後は毎年、公募を実施することを想定

支援内容

<ハード的な支援>

- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、社会資本整備総合交付金(直轄国道以外)及び交通安全施設等整備事業(直轄国道)の重点配分等により国交省が支援

<ソフト的な支援>

- 自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を構築。

選定にあたり優先的に評価する事項

- 重点「道の駅」候補からの企画提案
- 以下に関する企画提案
 - ・新たな観光拠点の形成(DMOとの連携、インバウンド観光)
 - ・風景街道・道守との連携
 - ・高速道路との連携
 - ・子育て応援